

平成29年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 30年 1月 ～ 30年 2月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①ジノデフリン (アルハリン) 顆粒水溶剤 ②フルジオキソニル (セイビアー) フロアブル20
③ピリタリル (フレオ) フロアブル
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①ジノデフリン 20.0% ②フルジオキソニル 20.0%
③ピリタリル 10.0%
- (3) 被験物質のLot No. ①ジノデフリン:21.10 77F10040 ②フルジオキソニル:19.10 BAB129
③ピリタリル:21.10 BAB132

2. 農作物名 大玉トマト、中玉トマト、品種名 大玉：ハウス桃太郎、中玉：レッドオーレ、ミニトマト ミニ：キャロル7

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深淵本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一、内藤 寛、高芝 和明、谷山 頼清、有波 友紀、島崎 祐樹、

高田 正司

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別添1参照

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度 (畝間・株間)・株数 (/10a)、水管理等、
被覆資材 (茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トナ栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 (加温栽培) 有袋・無袋の別 —

作物名：大玉トマト

播種日：平成29年9月13日、定植日：10月27日、畝幅：150cm、株間：50cm、千鳥2条植、

約2,700株/10a、施肥：平成29年、11/9、21、12/14 スカル 1000倍葉面散布、マルチ栽培

収穫期間 (適期)：平成30年1月下旬～

作物名：中玉トマト

播種日：平成29年9月13日、定植日：10月27日、畝幅：150cm、株間：50cm、千鳥2条植、

約2,700株/10a、施肥：平成29年、11/9、21、12/14 スカル 1000倍葉面散布、マルチ栽培

収穫期間 (適期)：平成30年1月中旬～

作物名：ミニトマト

播種日：平成29年9月15日、定植日：10月27日、畝幅：150cm、株間：50cm、千鳥2条植、

約2,700株/10a、施肥：平成29年、11/9、21、12/14 スカル 1000倍葉面散布、マルチ栽培

収穫期間 (適期)：平成29年12月下旬～

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ —
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

使用農薬なし。

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本 (株) 数 処理区A (大玉、中玉、ミニ)：各区40.5㎡、108株
無処理区B (大玉、中玉、ミニ)：各区40.5㎡、108株

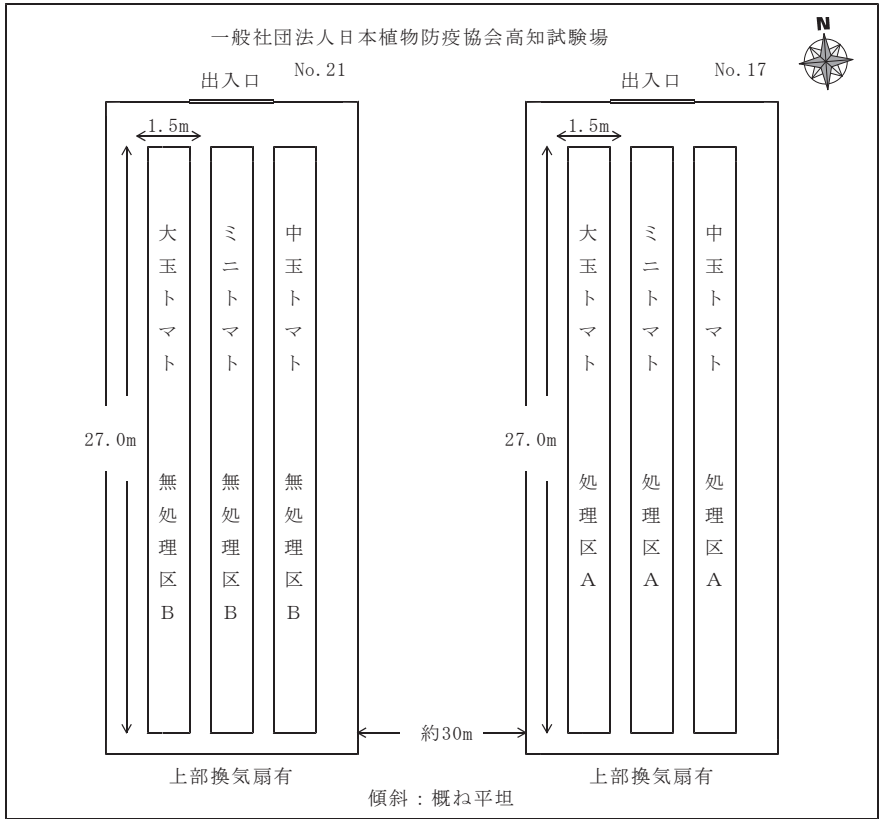
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 処理区A：面積：162.0㎡、容積：434㎡、高さ：3.0m
無処理区B：面積：162.0㎡、容積：434㎡、高さ：3.0m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

1 1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区 分 処理月日	A 区			B 区	C 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
	(大玉)	(中玉)	(ミニ)				1 0 a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H30年 1月15日	①、②、③	①、②、③	①、②、③	無処理		①2000倍、 ②1000倍、 ③1000倍	2 7 9 L	①5.65g、②11.3mL、③11.3mL /11.3L/40.5㎡	収穫期	散布
1月23日	①、②、③	①、②、③	①、②、③			①2000倍、 ②1000倍、 ③1000倍	2 7 9 L	①5.65g、②11.3mL、③11.3mL /11.3L/40.5㎡	収穫期	散布
月 日										
月 日	①、②、③剤の混合液36L作成					①ジ [®] ネフラン (アルバ [®] リン) 顆粒水溶剤 ②フルジ [®] オキソニル (セイビ [®] ア [®]) フロア [®] フル ③ピ [®] リタ [®] リル (ブ [®] レオ) フロア [®] フル				
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H30年 1月15日	背負式動力噴霧機 (丸山製作所・MSB1100Li・動力源：バッテリー) に キョリカコンノズ [®] ル1頭口 (丸山製作所) を装着して均一に散布した。		処理開始時刻；大玉区 12：25、 中玉区 12：45、 ミニ区 13：05 処理時の天候：晴れ 当日の天候：晴れのち曇 風の影響はなし
1月23日			処理開始時刻；大玉区 10：40、 中玉区 11：00、 ミニ区 11：15 処理時の天候：晴れ 当日の天候：晴れ 風の影響はなし
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区			B 区			C 区	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量 (1分析)	試料送付月日
	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号					
30年 1月23日				B (大玉)	B (中玉)	B (ミニ)		採取 9:30 ~ 10:30 天候:晴れ	(大玉)→(中玉)→(ミニ)	大玉:11個、2.3kg、中玉:48個、 2.4kg、ミニ:85個、1.2kg	1月23日
1月23日	A-1 (大玉)	A-1 (中玉)	A-1 (ミニ)					採取 13:50 ~ 14:30 天候:晴れ	(大玉)→(中玉)→(ミニ)	大玉:11個、2.2kg、中玉:48個、 2.1kg、ミニ:85個、1.1kg	1月23日
1月24日	A-2 (大玉)	A-2 (中玉)	A-2 (ミニ)					採取 8:45 ~ 9:10 天候:晴れ	(大玉)→(中玉)→(ミニ)	大玉:11個、2.4kg、中玉:51個、 2.1kg、ミニ:85個、1.1kg	1月24日
1月26日	A-3 (大玉)	A-3 (中玉)	A-3 (ミニ)					採取 8:45 ~ 9:10 天候:晴れ	(大玉)→(中玉)→(ミニ)	大玉:11個、2.4kg、中玉:58個、 2.1kg、ミニ:85個、1.1kg	1月26日
1月30日	A-4 (大玉)	A-4 (中玉)	A-4 (ミニ)					採取 8:45 ~ 9:10 天候:晴れ	(大玉)→(中玉)→(ミニ)	大玉:11個、2.4kg、中玉:55個、 2.1kg、ミニ:85個、1.1kg	1月30日
2月6日	A-5 (大玉)	A-5 (中玉)	A-5 (ミニ)					採取 8:55 ~ 9:25 天候:晴れ	(大玉)→(中玉)→(ミニ)	大玉:11個、2.4kg、中玉:50個、 2.1kg、ミニ:85個、1.1kg	2月6日
月 日											月 日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)										
30年 1月23日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常)やや過熟) 3. その他 () 4. 原因										
1月23日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常)やや過熟) 3. その他 () 4. 原因										
1月24日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常)やや過熟) 3. その他 () 4. 原因										
1月26日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) ☒ やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常)やや過熟) 3. その他 () 4. 原因 中玉トマトのサイズ: やや小さい										
1月30日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常) ☒ やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常)やや過熟) 3. その他 () 4. 原因 中玉トマトのサイズ: やや小さい										
2月6日	1. 試料の大きさは(やや大きい ☒ 通常)やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い ☒ 通常)やや過熟) 3. その他 () 4. 原因										
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因										

- (1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区および無処理区試料は、試験区の境界部をはずし、試験区全体から採取した。 大玉及び中玉は鋏を使用し、ミニトマトは手で採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして試験場内の試料調製室まで運んだ。

- (2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱穀・すり等、方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

新しいダンボール箱の底にエアクッションを敷いた後、未使用のボークスペーパーを敷き、試料を並べて入れた。その後試料全体を包むようにボークスペーパーをかぶせ梱包した。

緩衝材として大玉トマトはエアクッション、中玉、ミニトマトはボークスペーパーを使用いた。 試験区ごとに別々に梱包した。

ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼付した。

- (3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

- (4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

- (5) 備考 -

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

处理区A (No. 17)

さやいんげん

平成29年. 3/22, 29, 4/7 NC-2417ロア[®]ル 2000倍散布、NC-2417ロア[®]ル 3000倍散布、AKD-5195SC 2000倍散布、
ケ[®]ッター水と剤 1000倍散布

かんしょ

平成29年、5/10 MTI-446 (ｼﾞﾉﾌﾚﾌﾗﾝ) 顆粒水溶剤 2000倍散布、ﾀﾞﾝﾄﾞﾜ水溶剤 2000倍散布、ﾍﾞｽｶｰﾄﾞ
水溶剤 1000倍散布、ﾍﾞｽｶｰﾄﾞ 水溶剤 2000倍散布、ﾓｽﾋﾞﾗﾝ顆粒水溶剤 4000倍散布、5/22 ﾊﾞﾙﾀﾝ乳剤
1000倍散布、ﾊﾙﾀﾝ粉剤2 3kg/10a、ﾌｧﾙｺﾝﾌﾟﾛﾌﾞﾙ 6000倍散布、ﾌｴﾆｯｸｽ顆粒水溶剤 2000倍散布、
5/29 MTI-446 (ｼﾞﾉﾌﾚﾌﾗﾝ) 顆粒水溶剤 2000倍散布、ﾍﾞｽｶｰﾄﾞ 水溶剤 1000倍散布、ﾍﾞｽｶｰﾄﾞ 水溶剤
2000倍散布、ﾌﾄﾞﾏｲﾔｰ顆粒水溶剤 5000倍散布

トマト

平成29年、10/15 コル顆粒水和剤 4000倍散布、トップジンM水和剤 2000倍散布、10/25 フアーム乳剤 2000倍散布、11/24 ベストガード水溶剤 1000倍散布、トルネードフロアブル 2000倍散布、ランマンフロアブル 1000倍散布、12/14 ランマンフロアブル 1000倍散布、ベストガード水溶剤 1000倍散布、トップジンM水和剤 1500倍散布、平成30年、1/11ランマンフロアブル 1000倍散布、カンタストライフロアブル 1000倍散布 フェニックス顆粒水和剤 2000倍散布

無処理区B (No. 21)

きゅうり、トマト

平成29年. 2/24, 28 スタークル粒剤 2g/株

平成29年春夏作：ピーマン

平成29年、6/1 AKD-1193 (テラエリフ® ロール) SC 2500倍散布、BAI-1604SL 1000倍散布、BAI-1604SL 2000倍散布、スタークル顆粒水溶剤 2000倍散布

平成29年秋冬作：トマト

平成29年、10/15 コルト顆粒水と剤 4000倍散布、トップジンM水と剤 2000倍散布、10/25 アファーム乳剤 2000倍散布、11/24 ベストガード水溶剤 1000倍散布、トルネードフロアブル 2000倍散布、ランマンフロアブル 1000倍散布、12/14 ランマンフロアブル 1000倍散布、ベストガード水溶剤 1000倍散布、トップジンM水と剤 1500倍散布、平成30年、1/11 ランマンフロアブル 1000倍散布、カンタストライフフロアブル 1000倍散布、フェニックス顆粒水と剤 2000倍散布

気 象 表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎) 降水量：日界 ー 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(3 0 年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	気 温															21.0	17.9	16.7	18.0	17.7	17.6	18.0	14.3	15.4	15.5	15.8	15.1	14.8	13.3	15.0	14.5	15.6
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取															○								△ ○ △	△		△				△	
	区記号（試料番号）															A								B、A、A-1	A-2		A-3				A-4	
2	気 温	12.7	15.3	15.9	15.5	15.0	15.3																									
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取						△																									
	区記号（試料番号）						A-5																									
	気 温																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気 温																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気 温																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気 温																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。
また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (試験区ラベルと同様の番号) を当該欄へ記入する。
施設内気温測定には、テークナー (株式会社 ティアント・デイ おんどとりTR-71Ui) を使用した。

①試験施設の外観



写真1. 試験施設外観

②初回処理時の各作物の様子(処理区 A、1月 15 日撮影)



写真 2. 茎葉の様子(大玉トマト)



写真 3. 果実の様子(大玉トマト 1)



写真 4. 果実の様子(大玉トマト 2)



写真 5. 茎葉の様子(中玉トマト)



写真 6. 果実の様子(中玉トマト 1)



写真 7. 果実の様子(中玉トマト 2)



写真 8. 茎葉の様子(ミニトマト)



写真 9. 果実の様子(ミニトマト1)



写真 10. 果実の様子(ミニトマト2)

③第2回処理時の各作物の様子(処理区 A、1 月 23 日撮影)



写真 11. 茎葉の様子(大玉トマト)



写真 12. 果実の様子(大玉トマト 1)



写真 13. 果実の様子(大玉トマト2)



写真 14. 茎葉の様子(中玉トマト)



写真 15. 果実の様子(中玉トマト 1)



写真 16. 果実の様子(中玉トマト 2)



写真 17. 茎葉の様子(ミニトマト)



写真 18. 果実の様子(ミニトマト 1)



写真 19. 果実の様子(ミニトマト 2)

④採取日毎の各試料の様子



写真 20. 大玉トマト A-1(0日後)



写真 21. 中玉トマト A-1(0日後)



写真 22. ミニトマト A-1(0日後)



写真 23. 大玉トマト A-2(1日後)



写真 24. 中玉トマト A-2(1日後)



写真 25. ミニトマト A-2(1日後)



写真 26. 大玉トマト A-3(3日後)



写真 27. 中玉トマト A-3(3日後)



写真 28. ミニトマト A-3(3日後)



写真 29. 大玉トマト A-4(7日後)



写真 30. 中玉トマト A-4(7日後)



写真 31. ミニトマト A-4(7日後)



写真 32. 大玉トマト A-5(14日後)



写真 33. 中玉トマト A-5(14日後)



写真 34. ミニトマト A-5(14日後)

資料3-3.

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

〔大玉トマト〕

平成29年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 H30年1月 ～H30年2月)

1-1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ジノテフラン (アルバーン) 顆粒水溶剤
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ジノテフラン: 20.0%
- (3) 被験物質の Lot No. 21.10 77F10040

1-2. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 フルジオキシニル (セイビアー) フロアブル20
- (2) 有効成分名及び成分含有率 フルジオキシニル: 20.0%
- (3) 被験物質の Lot No. 19.10 BAB129

1-3. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ピリダリル (ブレオ) フロアブル
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ピリダリル: 10.0%
- (3) 被験物質の Lot No. 21.10 BAB132

2. 農作物名 大玉トマト 品種名 桃太郎ピース (台木: がんばる根)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂11913

4. 試験責任者氏名 飯干浩美、日高正浩、小川和巳、八丁昭龍

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙のとおり。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度 (畝間・株間)・株数 (/10a)、水管理等、被覆資材 (茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トンネル栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

播種日: 平成29年10月6日 (穂木)、10月4日 (台木) 定植日: 11月27日

畝間 160cm、株間 50cm、2条植、栽植密度 (/10a) 約 2,500株

施肥 (/10a) 11/10 堆肥4,000kg、苦土石灰120kg、有機配合888号 (8-8-8) 100kg、CDU複合

燐加安特S222 (12-12-12) 67kg、平成30年1月11日 サンライム (CaCO₃ 89.3%) 40kg/10a通路施用

トマトーン150倍処理 平成29年12月8日～平成30年1月4日 その他一般管理は慣行に従った。

収穫期間 (適期) : 1月下旬～

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

使用農薬なし。

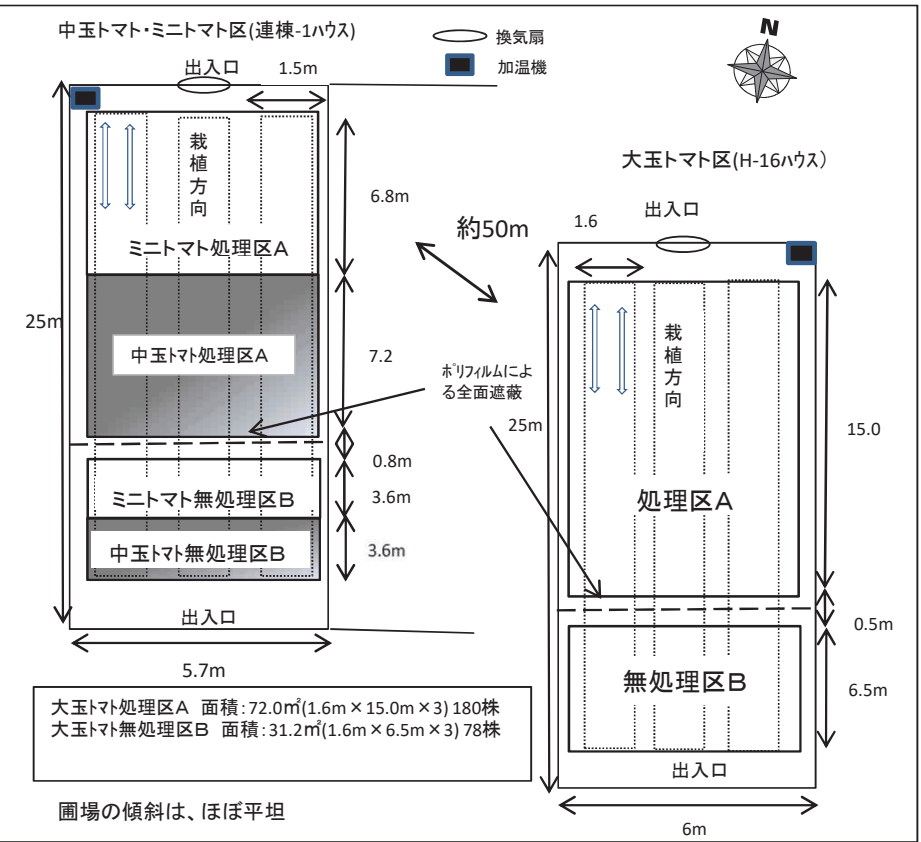
10. 試験区 H-16ハウス

(1) 1試験区の面積および本 (株) 数 処理区 A: 72.0m² (15.0m×1.6m×3畝)、180株
無処理区 B: 31.2m² (6.5m×1.6m×3畝)、78株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 150.0m²、容積: 400.0m³、高さ: 3.7m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

1 1. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

[illegible][illegible]

(1) 展着剤 ——— 使用した区番号 ——— 展着剤名 ——— 濃度または量 ———

(2) 備考 散布時、処理区Aと無処理区Bとの間を、ポリフィルムを用いて全面遮蔽した。散布3～4時間後に開放した。

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

〔大玉トマト〕

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H30 2月 3日	A-1	B						処理区A 15:35~15:45、16:01~16:03 晴れ、無処理区B 7:20~ 7:27 晴れ	B→A	各区果実2kg以上	2月 3日
2月 4日	A-2							処理区A 8:00~ 8:08 晴れ	A	果実2kg以上	2月 4日
2月 6日	A-3							処理区A 9:30~ 9:43 晴れ	A	果実2kg以上	2月 6日
2月 10日	A-4							処理区A 8:00~ 8:10 くもり	A	果実2kg以上	2月 10日
2月 17日	A-5							処理区A 8:38~ 9:00 晴れ	A	果実2kg以上	2月 17日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H30 2月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 4日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 6日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 10日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 17日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥のための輸送方法を記載

試験区の境界部を除く区全体から、ハサミを用いて果実を採取し、採取用カゴに入れ場内の試料調製室まで自動車で行った。

(2) 採取後の調製・梱包方法

採取した果実は直径約8cm以上のものを試料とし、ダンボール箱内側底部にエアークッション材を敷き、その上に未使用の包装紙を敷いたものに並べて入れ上から包装紙を被せ、
梱包した。ダンボール箱内側に試験区ラベルを、外側に梱包シールを貼付し試験区ごとに別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関 一般財団法人 残留農薬研究所 化学部 長田拓也

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の冷蔵便を使用し、送付翌々日 (午前中) 着指定で送付した。

(5) 備 考

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)
[大玉トマト]

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

気 象 表

観測地点 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 当該試験施設 (H-16) 記号 ; ○ : 薬剤処理日
試料調製場所 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 △ : 試料採取日

(30年)		気温：平均気温 (<u>1</u> 時間毎)					降水量： 日界 <u>0</u> 時																									
測定時刻		午前 <u> </u> 時																														
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	気温 (施設内温度)																											21.1	21.7	21.8	20.4	20.9
	降 水 量																											—	—	—	—	—
	薬剤処理/試料採取																											○				
	区記号 (試料番号)																											A				
2	気温 (施設内温度)	21.4	21.9	20.9	19.3	18.4	19.2	19.5	20.9	21.4	21.2	21.8	20.4	20.7	21.6	21.9	21.3	23.1														
	降 水 量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—														
	薬剤処理/試料採取			○, △	△		△				△							△														
	区記号 (試料番号)			A, B, A-1	A-2		A-3				A-4							A-5														
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															

施設内温度測定には、(株)ティアンドデイ社製「おんどとり TR-71Ui」を使用した。
薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。
また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

別紙

試験場名

一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

6. 過去1年間に使用した農薬

【大玉トマト区】

(作物：きゅうり)	
H29	3/14 I K I - 1 1 4 5 粒剤1.5 15kg, 20kg/10a, ネマトリンエース粒剤 15kg, 20kg/10a処理
	3/30 ランマンフロアブル1000倍, ダコニール1000 1000倍散布
	4/21 ダコニールくん煙剤 30g/400㎡
	4/26 プロボース顆粒水和剤1000倍, モレスタン水和剤2000倍散布
	5/14 モスピランジェット50g/400㎡
(作物：にがうり)	
H29	6/6 ベストガード水溶剤1000倍, モスピラン顆粒水溶剤4000倍散布
(作物：トマト)	
H29	7/25 D K N - 2 6 0 1 1%粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和
	D K N - 2 6 0 3 1%粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和
	M A I - 1 6 0 1 粒剤 (フルエンスホーン) 20kg, 30kg/10a全面処理土壌混和
	ネマトリンエース粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和
	8/9 トリガード液剤1000倍, ジマンダイセンフロアブル800倍, ダコニール1000 1000倍散布
	8/21 GL-59(スプレー) カチニジン,還元澱粉糖化物, マデステロシン 原液散布
	SYJ-2 8 3フロアブル1000倍, IL-1 7 0 1 S C 3000倍, 6000倍, ベネビア0D2000倍散布
	9/29 KI-88・SE(スピノサト®, 脂肪酸グリセリド®) 1000倍, フェニックス顆粒水和剤2000倍
(作物なし)	
H29	10/30 テロン350/10a全面土壌処理
(作物：大玉トマト)	
H29	10/17 (育苗期)ブリファード水和剤4000倍, アファーム乳剤2000倍散布
	10/24 (育苗期)ベストガード水溶剤2000倍散布
	11/14 (育苗期)ブリファード水和剤4000倍, コルト顆粒水和剤4000倍散布
	11/24 (育苗期)ベリマークSC 400株当たり25ml
	11/24 ネマトリンエース粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和
	12/1 アフェットフロアブル2000倍, ランマンフロアブル1000倍散布
H30	1/5 アファーム乳剤2000倍, ランマンフロアブル1000倍, ロブラール水和剤1000倍散布
	1/25 トリフミンジェット50g/400㎡
	1/26 アフェットフロアブル2000倍

【中玉・ミニトマト区】

(作物：なす)	
H29	3/7 プレバソンフロアブル5 2000倍, モスピラン顆粒水溶剤2000倍 散布
	3/29 アファーム乳剤2000倍, スタークル顆粒水溶剤2000倍, チェス顆粒水和剤5000倍散布
	5/1 プレバソンフロアブル5 2000倍, モスピラン顆粒水溶剤2000倍 散布
	5/16 アファーム乳剤2000倍, スタークル顆粒水溶剤2000倍, チェス顆粒水和剤5000倍散布
	4/7, 17, 28, 5/8, 18 AKD-5195SC2000倍, ネクスターフロアブル1000倍, ブライア水和剤 1000倍, AKD-5195SC20 1333倍, NF-180フロアブル10 1000倍, ロブラール水和剤 1000倍散布
	6/13 ダントツ水溶剤2000倍, アグリメック500倍散布
	7/3 ベストガード水溶剤1000倍, モベントフロアブル2000倍散布
	6/17, 23, 7/1 TAK-02・EC500倍, BAF-1707フロアブル4000倍, モレスタン水和剤2000倍,
	6/17, 23, 7/1 パルミノ2000倍, ダコニール1000 1000倍
	6/17, 20, 23, 27, 7/1, 5 TAK-02・EC1000倍
(作物：だいこん)	
	9/4 フェニックス顆粒水和剤2000倍散布
	8/23 ブリロソソ粒剤6kg/10a播溝土壌混和, フォース粒剤4kg/10a播溝土壌混和
	9/21 フェニックス顆粒水和剤2000倍散布
(作物なし)	
H29	10/31 テロン350/10a全面土壌処理
(作物：中玉トマト, ミニトマト)	
H29	10/17 (育苗期)ブリファード水和剤4000倍, アファーム乳剤2000倍散布
	10/24 (育苗期)ベストガード水溶剤2000倍散布
	11/14 (育苗期)ブリファード水和剤4000倍, コルト顆粒水和剤4000倍散布
	11/24 (育苗期)ベリマークSC 400株当たり25ml
	11/24 ネマトリンエース粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和
	12/1 アフェットフロアブル2000倍, ランマンフロアブル1000倍散布
H30	1/5 アファーム乳剤2000倍, ランマンフロアブル1000倍, ロブラール水和剤1000倍散布
	1/25 トリフミンジェット50g/400㎡
	1/26 アフェットフロアブル2000倍

〔中玉トマト〕

平成29年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 H30年1月 ～H30年2月)

1-1. 被験物質

(1) 一般名・剤型	ジノテフラン (アルバリン) 顆粒水溶剤
(2) 有効成分名及び成分含有率	ジノテフラン： 20.0%
(3) 被験物質の Lot No.	21.10 77F10040

1-2. 被験物質

(1) 一般名・剤型	フルジオキシニル (セイビアー) フロアブル20
(2) 有効成分名及び成分含有率	フルジオキシニル： 20.0%
(3) 被験物質の Lot No.	19.10 BAB129

1-3. 被験物質

(1) 一般名・剤型	ピリダリル (プレオ) フロアブル
(2) 有効成分名及び成分含有率	ピリダリル： 10.0%
(3) 被験物質の Lot No.	21.10 BAB132

2. 農作物名	中玉トマト	品種名	レッドオーレ (台木：がんばん根)
3. 試験実施機関名	一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場		
試験圃場所在地	宮崎県宮崎市佐土原町下那珂11913		
4. 試験責任者氏名	飯干浩美、日高正浩、小川和巳、八丁昭龍		
5. 土性	砂土・砂壤土・壤土・埴壌土・埴土 (○を付す)	減水深	— cm/日
6. 過去1年間に作付けた作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)	別紙のとおり。		

7. 栽培概要	播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度（畝間・株間）・株数（/10a）、水管理等、被覆資材（茶は寒れい・砂番号）、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい・砂・トンネル栽培の被覆時期を記載する		
露地・施設の別	施設栽培	有袋・無袋の別	—
播種日：平成29年10月6日（穂木）、10月4日（台木） 定植日：11月27日			
畝間 150cm、株間 40cm、2条植、栽植密度（/10a） 約 3,300株			
施肥（/10a） 11/10 堆肥4,000kg、苦土石灰120kg、有機配合888号（8-8-8）100kg、CDU複合燐加安特S222（12-12-12）67kg、平成30年1月11日 サンライム（CaCO ₃ 89.3%）40kg/10a通路施用			
トマトトーン150倍処理 平成29年12月8日～平成30年1月4日、その他一般管理は慣行に従った。			
収穫期間（適期）： 1月下旬～			

8. 生育ステージ	試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい
-----------	-------------------------

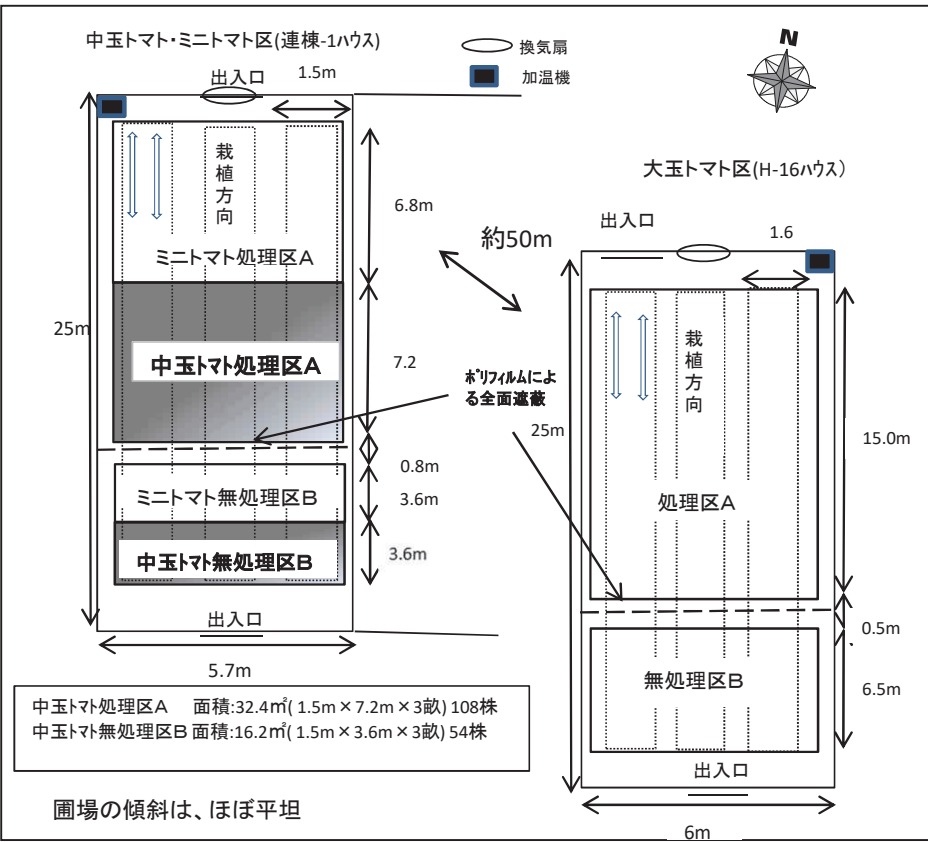
9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

使用農薬なし。

10. 試験区 連棟-1ハウス

(1) 1試験区の面積および本 (株) 数	処理区 A： 32.4㎡ (7.2m×1.5m×3畝)、108株 無処理区 B：16.2㎡ (3.6m×1.5m×3畝)、54株
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ	面積：142.5㎡、容積：285.0㎡、高さ：3.3m
(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)	

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

〔中玉トマト〕

1 1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区 分 処理月日	A区	B区	C区	D区	E区	F区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
								10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H30 1月 27日	ｼﾞﾌﾅﾌﾗﾝ	無処理					2000倍	250 L	4.05mL／8.1L／32.4㎡	収穫期	散布
月 日	ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ						1000倍	250 L	8.1mL／8.1L／32.4㎡		
月 日	ﾋﾞﾘﾀﾞﾘﾙ						1000倍	250 L	8.1mL／8.1L／32.4㎡		
2月 3日	ｼﾞﾌﾅﾌﾗﾝ	無処理					2000倍	250 L	4.05mL／8.1L／32.4㎡	収穫期	散布
月 日	ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ						1000倍	250 L	8.1mL／8.1L／32.4㎡		
月 日	ﾋﾞﾘﾀﾞﾘﾙ						1000倍	250 L	8.1mL／8.1L／32.4㎡		
月 日											
月 日											
月 日											

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
			処理開始時刻	処理時天候
H30 1月 27日	背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製MSB1500Li)にキョウ カクコーンノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		10:52、	処理時天候 晴れ、
2月 3日			10:35、	処理時天候 晴れ、
月 日				処理当日天候 晴れ、 風の影響はなし
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考 処理区Aと無処理区Bとの間をポリフィルムを用いて全面遮蔽した後、散布を行った。散布3～4時間後に開放した。

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

〔中玉トマト〕

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H30 2月 3日	A-1	B						処理区A 14:00～14:21 晴れ 無処理区B 7:35～ 7:46 晴れ	B→A	各区果実2kg以上	2月 3日
2月 4日	A-2							処理区A 8:18～ 8:31、9:28～9:33	A	果実2kg以上	2月 4日
2月 6日	A-3							処理区A 10:15～ 10:33 晴れ	A	果実2kg以上	2月 6日
2月 10日	A-4							処理区A 8:15～ 8:30 くもり	A	果実2kg以上	2月 10日
2月 17日	A-5							処理区A 10:05～ 10:30 晴れ	A	果実2kg以上	2月 17日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)			
H30 2月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある	2. 熟期は (やや早い ☒ 通常) やや過熟	3. その他 ()	4. 原因
2月 4日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある	2. 熟期は (やや早い ☒ 通常) やや過熟	3. その他 ()	4. 原因
2月 6日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある	2. 熟期は (やや早い ☒ 通常) やや過熟	3. その他 ()	4. 原因
2月 10日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある	2. 熟期は (やや早い ☒ 通常) やや過熟	3. その他 ()	4. 原因
2月 17日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある	2. 熟期は (やや早い ☒ 通常) やや過熟	3. その他 ()	4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある	2. 熟期は (やや早い 通常) やや過熟	3. その他 ()	3. 原因
月 日	1. 試料の大きさは (やや大きい 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある	2. 熟期は (やや早い 通常) やや過熟	3. その他 ()	4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥のための輸送方法を記載

試験区の境界部を除く区全体から、手で果実を採取し、採取用カゴに入れ場内の試料調製室まで自動車で行く。

(2) 採取後の調製・梱包方法

採取した果実は直径約4cmのものを試料とし、ダンボール箱内側底部にエアークッション材を敷き、その上に未使用の包装紙を敷いたものに並べて入れ上から包装紙を被せ、
その上に残りの果実を並べた後、さらに包装紙を被せ梱包した。ダンボール箱内側に試験区ラベルを、外側に梱包シールを貼付し試験区ごとに別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関 一般財団法人 残留農薬研究所 化学部 長田拓也

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の冷蔵便を使用し、送付翌々日 (午前中) 着指定で送付した。

(5) 備 考

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)
[中玉トマト・ミニトマト]

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

気 象 表

観測地点 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 当該試験施設 (連棟 - 1) 記号 ; ○ : 薬剤処理日
試料調製場所 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 △ : 試料採取日

気温 : 平均気温 (1 時間毎) 降水量 : 日界 0 時
(30 年) 測定時刻 午前 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	気温 (施設内温度)																											21.6	18.7	19.9	20.0	19.1
	降 水 量																											-	-	-	-	-
	薬剤処理/試料採取																											○				
	区記号 (試料番号)																											A				
2	気温 (施設内温度)	17.7	20.0	20.2	20.1	19.8	20.2	20.0	20.0	19.8	18.7	21.0	20.2	20.5	21.0	19.5	18.1	20.9														
	降 水 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
	薬剤処理/試料採取			○, △	△		△				△							△														
	区記号 (試料番号)			A, B, A-1	A-2		A-3				A-4						A-5															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															
	気温 (施設内温度)																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号 (試料番号)																															

施設内温度測定には、(株)ティアンドデイ社製「おんどとり TR-71Ui」を使用した。

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

別紙

試験場名

一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

6. 過去1年間に使用した農薬

〔大玉トマト区〕

(作物：きゅうり)

H29	3/14	I K I - 1 1 4 5 粒剤	1.5	15kg, 20kg/10a, ネマトリンエース粒剤	15kg, 20kg/10a	処理
	3/30	ランマンフロアブル	1000倍, ダコニール	1000	1000倍	散布
	4/21	ダコニールくん煙剤	30g/400㎡			
	4/26	プロボース顆粒水	和剤1000倍, モレスタン水	和剤2000倍	散布	
	5/14	モスビランジェット	50g/400㎡			

(作物：にがうり)

H29	6/6	ベストガード水溶剤	1000倍, モスビラン顆粒水	溶剤4000倍	散布	
-----	-----	-----------	-----------------	---------	----	--

(作物：トマト)

H29	7/25	DKN-2 6 0 1 1%粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和					
		DKN-2 6 0 3 1%粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和					
		MAI-1 6 0 1 粒剤 (フルエンスルホン) 20kg, 30kg/10a全面処理土壌混和					
		ネマトリンエース粒剤 20kg/10a全面処理土壌混和					
	8/9	トリガード液剤1000倍, ジマンダイセンフロアブル800倍, ダコニール1000					1000倍散布
	8/21	GL-59(スプレー) カサネジン, 還元澱粉糖化物, マデステロピン					原液散布
		SYJ-2 8 3 フロアブル1000倍, IL-1 7 0 1 S C3000倍, 6000倍, ベネビア0D2000倍					散布
	9/29	KI-88・SE(スリノット, 脂肪酸グリセリド)1000倍, フェニックス顆粒水					和剤2000倍

(作物なし)

H29	10/30	テロン	350/10a	全面土壌処理		
-----	-------	-----	---------	--------	--	--

(作物：大玉トマト)

H29	10/17	(育苗期)ブリファード水	和剤4000倍, アファーム乳剤	2000倍	散布	
	10/24	(育苗期)ベストガード水	溶剤2000倍	散布		
	11/14	(育苗期)ブリファード水	和剤4000倍, コルト顆粒水	和剤4000倍	散布	
	11/24	(育苗期)ベリマークSC	400株当たり	25ml		
	11/24	ネマトリンエース	粒剤	20kg/10a	全面処理	土壌混和
	12/1	アフエットフロアブル	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍	散布	
H30	1/5	アファーム乳剤	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍, ロブラール水	和剤1000倍	散布
	1/25	トリフミンジェット	50g/400㎡			
	1/26	アフエットフロアブル	2000倍			

〔中玉・ミニトマト区〕

(作物：なす)

H29	3/7	ブレバソンフロアブル5	2000倍,モスビラン顆粒水溶剤2000倍	散布
	3/29	アフーム乳剤2000倍,スタークル顆粒水溶剤2000倍,チェス顆粒水	和剤5000倍	散布
	5/1	ブレバソンフロアブル5	2000倍,モスビラン顆粒水溶剤2000倍	散布
	5/16	アフーム乳剤2000倍,スタークル顆粒水溶剤2000倍,チェス顆粒水	和剤5000倍	散布
	4/7, 17, 28, 5/8, 18	AKD-5195SC2000倍,ネクスターフロアブル1000倍,ブライア水	和剤1000倍,AKD-5195SC20 1333倍,NF-180フロアブル10 1000倍,ロブラール水	和剤1000倍
	6/13	ダントツ水溶剤2000倍,アグリメック500倍	散布	
	7/3	ベストガード水溶剤1000倍,モベントフロアブル2000倍	散布	
	6/17, 23, 7/1	TAK-02・EC500倍,BAF-1707フロアブル4000倍,モレスタン水	和剤2000倍,	
	6/17, 23, 7/1	バルミノ2000倍,ダコニール1000	1000倍	
	6/17, 20, 23, 27, 7/1, 5	TAK-02・EC1000倍		

(作物：だいこん)

	9/4	フェニックス顆粒水	和剤2000倍	散布		
	8/23	ブリロッソ	粒剤6kg/10a	播溝土壌混和, フォース	粒剤4kg/10a	播溝土壌混和
	9/21	フェニックス顆粒水	和剤2000倍	散布		

(作物なし)

H29	10/31	テロン	350/10a	全面土壌処理		
-----	-------	-----	---------	--------	--	--

(作物：中玉トマト, ミニトマト)

H29	10/17	(育苗期)ブリファード水	和剤4000倍, アファーム乳剤	2000倍	散布	
	10/24	(育苗期)ベストガード水	溶剤2000倍	散布		
	11/14	(育苗期)ブリファード水	和剤4000倍, コルト顆粒水	和剤4000倍	散布	
	11/24	(育苗期)ベリマークSC	400株当たり	25ml		
	11/24	ネマトリンエース	粒剤	20kg/10a	全面処理	土壌混和
	12/1	アフエットフロアブル	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍	散布	
H30	1/5	アファーム乳剤	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍, ロブラール水	和剤1000倍	散布
	1/25	トリフミンジェット	50g/400㎡			
	1/26	アフエットフロアブル	2000倍			

〔ミニトマト〕

平成29年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 H30年1月 ～H30年2月)

1-1. 被験物質

(1) 一般名・剤型	ジノテフラン (アルバリン) 顆粒水溶剤
(2) 有効成分名及び成分含有率	ジノテフラン: 20.0%
(3) 被験物質の Lot No.	21.10 77F10040

1-2. 被験物質

(1) 一般名・剤型	フルジオキソニル (セイビアー) フロアブル20
(2) 有効成分名及び成分含有率	フルジオキソニル: 20.0%
(3) 被験物質の Lot No.	19.10 BAB129

1-3. 被験物質

(1) 一般名・剤型	ピリダリル (プレオ) フロアブル
(2) 有効成分名及び成分含有率	ピリダリル: 10.0%
(3) 被験物質の Lot No.	21.10 BAB132

2. 農作物名	ミニトマト	品種名	キャロル7 (台木: がんぼる根)
3. 試験実施機関名	一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場		
試験圃場所在地	宮崎県宮崎市佐土原町下那珂11913		
4. 試験責任者氏名	飯干浩美、日高正浩、小川和巳、八丁昭龍		
5. 土性	砂土・砂壤土・壤土・埴壌土・埴土 (○を付す)	減水深	— cm/日
6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬	(別紙としても構いません)		
	別紙のとおり。		

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい・砂番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい・砂・トネ栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別	施設栽培	有袋・無袋の別	—
播種日: 平成29年10月6日(徳木)、10月4日(台木)	定植日: 11月27日		
畝間 150cm、株間 40cm、2条植、	栽植密度(/10a) 約 3,300株		
施肥(/10a) 11/10 堆肥4,000kg、苦土石灰120kg、有機配合888号(8-8-8)100kg、CDU複合燐			
加安特S222(12-12-12)67kg、平成30年1月11日 サンライム(CaCO ₃ 89.3%) 40kg/10a通路施用			
トマトトーン150倍処理 平成29年11月30日～平成30年1月4日	その他一般管理は慣行に従った。		
収穫期間(適期)	1月下旬～		

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージを記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

使用農薬なし。

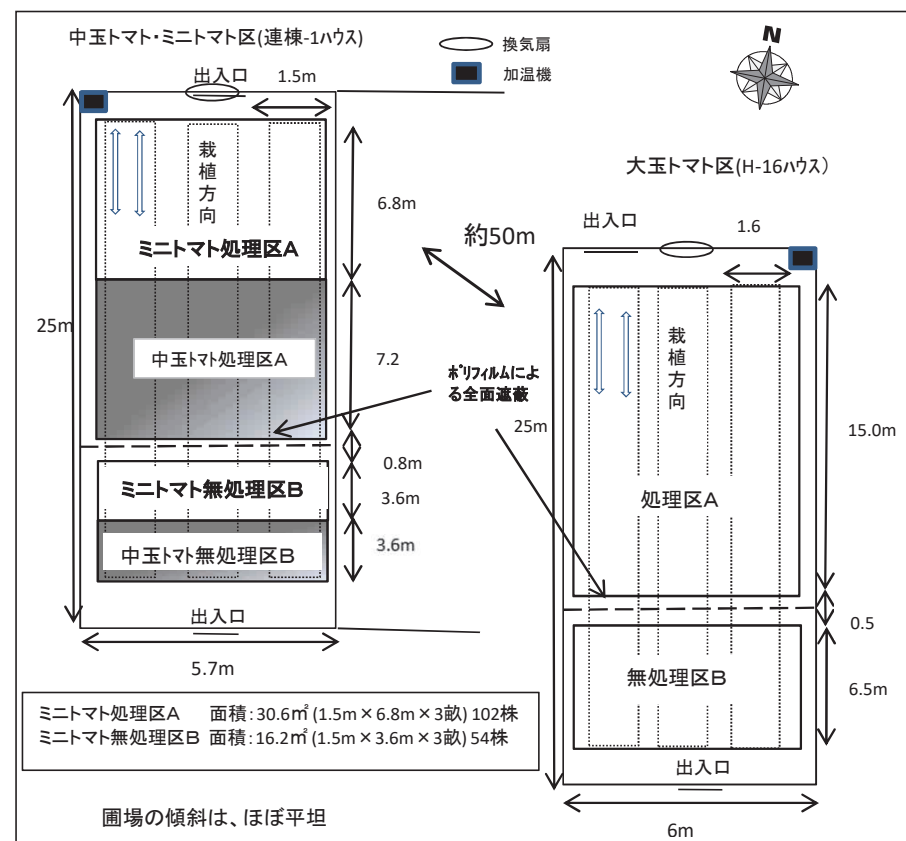
10. 試験区 連棟-1ハウス

(1) 1試験区の面積および本(株)数	処理区 A: 30.6㎡ (6.8m×1.5m×3畝)、102株
	無処理区 B: 16.2㎡ (3.6m×1.5m×3畝)、54株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ	面積: 142.5㎡、容積: 285.0㎡、高さ: 3.3m
--------------------	--------------------------------

(3) 試験区の配置図	(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)
-------------	---

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

1 1. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

[illegible][illegible]

(1) 展着剤 ——— 使用した区番号 ——— 展着剤名 ——— 濃度または量 ———

(2) 備考 散布時、処理区Aと無処理区Bとの間を、ポリフィルムを用いて全面遮蔽した。散布3～4時間後に開放した。

.....

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

〔ミニトマト〕

1 2. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H30 2月 3日	A-1	B						処理区A 14:22~14:48 晴れ 無処理区B 7:48~ 8:00 晴れ	B→A	各区果実1kg以上	2月 3日
2月 4日	A-2							処理区A 8:35~ 8:54 晴れ	A	果実1kg以上	2月 4日
2月 6日	A-3							処理区A 10:35~ 10:55 晴れ	A	果実1kg以上	2月 6日
2月 10日	A-4							処理区A 8:32~ 8:49 くもり	A	果実1kg以上	2月 10日
2月 17日	A-5							処理区A 10:33~ 10:58 晴れ	A	果実1kg以上	2月 17日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H30 2月 3日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 4日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 6日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 10日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月 17日	1. 試料の大きさは (やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は (やや早い ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具 (機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥のための輸送方法を記載

試験区の境界部を除く区全体から、手で果実を採取し、採取用カゴに入れ場内の試料調製室まで自動車で運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

採取した果実は直径2~3 c mのものを試料とし、ダンボール箱内側底部にエアークッション材を敷き、その上に未使用の包装紙を敷いたものに並べて入れ上から包装紙を被せ、

その上に残りの果実を並べた後、さらに包装紙を被せ梱包した。ダンボール箱内側に試験区ラベルを、外側に梱包シールを貼付し試験区ごとに別々に梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関 一般財団法人 残留農薬研究所 化学部 長田拓也

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の冷蔵便を使用し、送付翌々日 (午前中) 着指定で送付した。

(5) 備 考

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)
[中玉トマト・ミニトマト]

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

気 象 表

観測地点 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 当該試験施設 (連棟－ 1) 記号 ; ○ : 薬剤処理日

試料調製場所 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 1 1 9 1 3 一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場 △ : 試料採取日

気温 : 平均気温 (1 時間毎) 降水量 : 日界 0 時

(30年) 測定時刻 午前 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	気温（施設内温度）																											21.6	18.7	19.9	20.0	19.1
	降 水 量																										－	－	－	－	－	
	薬剤処理/試料採取																										○					
	区記号（試料番号）																										A					
2	気温（施設内温度）	17.7	20.0	20.2	20.1	19.8	20.2	20.0	20.0	19.8	18.7	21.0	20.2	20.5	21.0	19.5	18.1	20.9														
	降 水 量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－														
	薬剤処理/試料採取			○, △	△		△				△						△															
	区記号（試料番号）			A, B, A-1	A-2		A-3				A-4						A-5															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

施設内温度測定には、(株)ティアンドデイ社製「おんどとり TR-71Ui」を使用した。

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)

別紙

6. 過去1年間に使用した農薬

〔大玉トマト区〕

(作物：きゅうり)

H29	3/14	I K I - 1 1 4 5 粒剤	1.5	15kg, 20kg/10a, ネマトリンエース粒剤	15kg, 20kg/10a	処理
	3/30	ランマンフロアブル	1000倍, ダコニール1000	1000倍	散布	
	4/21	ダコニールくん煙剤	30g/400㎡			
	4/26	プロボース顆粒水和剤	1000倍, モレスタン水和剤	2000倍	散布	
	5/14	モスピランジェット	50g/400㎡			

(作物：にがうり)

H29	6/6	ベストガード水溶剤	1000倍, モスピラン顆粒水溶剤	4000倍	散布	
-----	-----	-----------	-------------------	-------	----	--

(作物：トマト)

H29	7/25	DKN-2 6 0 1	1%粒剤	20kg/10a	全面処理	土壌混和
		DKN-2 6 0 3	1%粒剤	20kg/10a	全面処理	土壌混和
		MAI-1 6 0 1	粒剤 (フルエンスルホン)	20kg, 30kg/10a	全面処理	土壌混和
		ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	全面処理	土壌混和	
	8/9	トリガード液剤	1000倍, ジマンダイセンフロアブル	800倍, ダコニール1000	1000倍	散布
	8/21	GL-59 (スプレー)	カサネジン, 還元澱粉糖化物, マデステピン	原液	散布	
		SYJ-2 8 3	フロアブル	1000倍, IL-1 7 0 1 S C	3000倍, 6000倍, ベネビア0D	2000倍
	9/29	KI-88・SE (スリノット, 脂肪酸グリセリド)	1000倍, フェニックス顆粒水和剤	2000倍		

(作物なし)

H29	10/30	テロン350/10a	全面土壌処理			
-----	-------	------------	--------	--	--	--

(作物：大玉トマト)

H29	10/17	(育苗期)ブリファード水和剤	4000倍, アファーム乳剤	2000倍	散布	
	10/24	(育苗期)ベストガード水溶剤	2000倍	散布		
	11/14	(育苗期)ブリファード水和剤	4000倍, コルト顆粒水和剤	4000倍	散布	
	11/24	(育苗期)ベリマークSC	400株当たり	25ml		
	11/24	ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	全面処理	土壌混和	
	12/1	アフエットフロアブル	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍	散布	
H30	1/5	アファーム乳剤	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍, ロブラール水和剤	1000倍	散布
	1/25	トリフミンジェット	50g/400㎡			
	1/26	アフエットフロアブル	2000倍			

試験場名

一般社団法人 日本植物防疫協会宮崎試験場

〔中玉・ミニトマト区〕

(作物：なす)

H29	3/7	ブレバソンフロアブル	5	2000倍, モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	散布
	3/29	アファーム乳剤	2000倍, スタークル顆粒水溶剤	2000倍, チェス顆粒水和剤	5000倍	散布
	5/1	ブレバソンフロアブル	5	2000倍, モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	散布
	5/16	アファーム乳剤	2000倍, スタークル顆粒水溶剤	2000倍, チェス顆粒水和剤	5000倍	散布
	4/7, 17, 28, 5/8, 18	AKD-5195SC	2000倍, ネクスターフロアブル	1000倍, ブライア水和剤	1000倍, AKD-5195SC	20 1333倍, NF-180フロアブル
				1000倍, ロブラール水和剤		
	6/13	ダントツ水溶剤	2000倍, アグリメック	500倍	散布	
	7/3	ベストガード水溶剤	1000倍, モベントフロアブル	2000倍	散布	
	6/17, 23, 7/1	TAK-02・EC	500倍, BAF-1707フロアブル	4000倍, モレスタン水和剤	2000倍,	
	6/17, 23, 7/1	バルミノ	2000倍, ダコニール1000	1000倍		
	6/17, 20, 23, 27, 7/1, 5	TAK-02・EC	1000倍			

(作物：だいこん)

	9/4	フェニックス顆粒水和剤	2000倍	散布		
	8/23	ブリロッソ粒剤	6kg/10a	播溝土壌混和, フォース粒剤	4kg/10a	播溝土壌混和
	9/21	フェニックス顆粒水和剤	2000倍	散布		

(作物なし)

H29	10/31	テロン350/10a	全面土壌処理			
-----	-------	------------	--------	--	--	--

(作物：中玉トマト, ミニトマト)

H29	10/17	(育苗期)ブリファード水和剤	4000倍, アファーム乳剤	2000倍	散布	
	10/24	(育苗期)ベストガード水溶剤	2000倍	散布		
	11/14	(育苗期)ブリファード水和剤	4000倍, コルト顆粒水和剤	4000倍	散布	
	11/24	(育苗期)ベリマークSC	400株当たり	25ml		
	11/24	ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	全面処理	土壌混和	
	12/1	アフエットフロアブル	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍	散布	
H30	1/5	アファーム乳剤	2000倍, ランマンフロアブル	1000倍, ロブラール水和剤	1000倍	散布
	1/25	トリフミンジェット	50g/400㎡			
	1/26	アフエットフロアブル	2000倍			